公共政策学科　カリキュラムツリー

	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
学部基幹科目 社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につける	公共性と社会	現代社会論						
	現代思想 環境社会システム論 20世紀の歴史	現代日本社会史 現代市民論						
学科基礎科目 公共政策学の基礎的知識・視点を身につける	法学入門1 経済学入門1	法学入門2 経済学入門2	公共政策学(概論) 公共政策学特殊講義1 公共政策学外国文献研究1	公共政策学購読 公共政策学フィールドワーク入門 公共政策学(各論) 公共政策学特殊講義2 公共政策学外国文献研究	公共政策学フィールドワーク実習	公共政策学フィールドワーク実習2		
		アカデミック・スキルズ						
学科専攻科目 共通					公共政策学ゼミ1	公共政策学ゼミ2	公共政策学卒業研究ゼミ1	公共政策学卒業研究ゼミ2 卒業リポート
学科専攻科目 地域政治コース			行政法(総論) 行政法(行政救済法・行政組織法) 民法(総則・物権) 民法(債権・親族・相続) 労働法(集団的労働関係法) 労働法(個別的労働関係法) 社会保障法 地域社会学 地域政策論 地方自治法	行政学(概論) 行政学(各論) 政治社会学 政治過程論 住民自治論 コミュニティ論 地域政治特殊講義1 地域政治特殊講義2 地域政治特殊講義3 地域政治特殊講義4	刑法 商法			
学科専攻科目 地域経済コース			ミクロ経済学1 ミクロ経済学2 マクロ経済学1 マクロ経済学2 地方財政論 財政学 公共経済学 地域経済論 社会的企業論 社会政策 環境政策論	環境社会学 環境技術論 地球環境論 環境評価論 都市環境論 都市計画論 地域経済特殊講義1 地域経済特殊講義2 地域経済特殊講義3 地域経済特殊講義4	会計学 経営学			
関連科目 公共政策学に関連する知識や考え方を学ぶ	日本史概論 東洋史概論 西洋史概論 法律学概論1 宗教学概論 倫理学概論 政治学概論 経済学概論 社会学概論 国際政治学 日本仏教史(古代・中世) 中国仏教史	日本史特論 法律学概論2 哲学概論 日本仏教史(近世・近代)	人文地理学1 自然地理学1 地誌学1 中小企業論 異文化理解 グローバル化論 コミュニケーションと社会 共生の社会学 社会調査論1 基礎統計学1 NPO法人マネジメント論 京都の産業	人文地理学2 自然地理学2 地誌学2 社会調査論2 基礎統計学2	社会調査法演習1 社会調査法演習2 調査研究演習1 調査研究演習3 民法概論 労働法概論 刑法概論	データ解析演習 調査研究演習2		
関連科目 課題解決型授業			プロジェクト演習		グローカル人材PBL			
関連科目 公務員試験対策			公務員演習1(数的推理・判断推理) 公務員演習2(文章理解・資料解釈)					
学年別到達目標	・情報や文献を読解し、内容の要約やレジュメの作成、レポートの執筆ができる ・公共政策学に関連するテーマに従って自身の考えを再構成できる ・社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につける		・公共政策学の基礎的知識・視点を身につける ・各コース(「地域政策」「地域経済」)の専門知識の基礎を身につける ・少人数クラスとグループワークにより公共政策学の諸領域における考え方や手法を習得する		・各自の問題意識を深め、主体的に学習する態度を身につける ・各コース(「地域政策」「地域経済」)の専門知識の基礎を身につけ、公共政策学の理解をより深める ・公共社会の諸問題について主体的に検討し、対応策を提案できる		・幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力を活用し、卒業リポートを完成させる ・政策課題の解決に向けてグループワークを行い、プレゼンテーション能力を身につける ・履修者間のディスカッションを通じて、コミュニケーション能力を身につける	

ディプロマ・ポリシー

〈社会学部〉

D1.社会学または公共政策学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる
①社会学または公共政策の領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している
②社会学または公共政策の領域の深い知識や技能を修得している
③社会学または公共政策の領域の情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる
④社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる
D2.社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、社会学または公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる
D3.目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる

〈公共政策学科〉

D1.公共政策学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる
①社会、特に地域社会の課題に取り組むために、公共政策の領域に必要な政治学、経済学、法学および関連する学問に関する基礎的な知識や視点を修得している
②地域社会の担い手としての自覚をもって地域の課題に積極的に取り組む意志と実行力を備えるために、公共政策の領域の深い知識や技能を修得し、活用できる
③己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動できるよう、公共政策の領域の情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる
④社会、特に地域社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる

〈公共政策学科〉

D2.社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる

D3.目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる